

タチガレン液剤

作物名	適用病害名 / 使用目的	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)、根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、ムレ苗防止	500~1000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り500ml	は種時及び発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注及び灌注は2回以内)
	砂壤土、高温、低温又は高密度は種苗における水稲用除草剤起因の生育抑制軽減	500		移植5日前~移植前日	1回	灌注	
	ごま葉枯病			は種時	1回	土壌灌注	
	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)、根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、ムレ苗防止	1000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り1L	は種時及び発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	
	ごま葉枯病		は種時	1回	土壌灌注		
稲(折衷苗代)	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)	500	1L/m ²	は種直後及び発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	
稲(畑苗代)	根の生育促進、移植時の発根及び活着促進	1000	3L/m ²	は種直後	1回	土壌灌注	
キャベツ	ピシウム腐敗病	1000	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3.0~4.0L)当り0.5L	出芽時~育苗期	3回以内	土壌灌注	3回以内
レタス	パーティシリウム萎凋病		250ml/株	定植時		株元灌注	1回
すいか	苗立枯病	500~1000	3L/m ²	は種直後	1回	苗床灌注	2回以内(育苗土壌への混和は1回以内、苗床への灌注は1回以内)
きゅうり	苗立枯病(フザリウム菌)、苗立枯病(ピシウム菌)				3回以内	土壌灌注	3回以内
メロン	苗立枯病(ピシウム菌)	500				全面土壌灌注	
ほうれんそう	立枯病	500~1000		は種時	1回	土壌灌注	1回
		1500~3000	9L/m ²				
		50~100	300ml/m ²	は種前		全面散布後土壌灌注	
オクラ	苗立枯病(ピシウム菌)	500~1000	50~200ml/株	は種時~発芽初期	2回以内	植穴又は株元灌注	2回以内
さやいんげん	白絹病	500	1L/m ²	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
さやえんどう	根腐病	500~1000	3L/m ²	は種後及び生育期		は種穴又は株元に土壌灌注	
実えんどう	立枯病	500	200ml/株	但し、は種後1~2か月後まで			
未成熟そらまめ				は種後及び生育期		但し、収穫30日前まで	
てんさい	苗立枯病	500~1000	ペーパーポット1冊当り1L	は種時~生育初期	3回以内	灌注	5回以内(種子粉衣は1回以内、育苗土壌への混和は1回以内、灌注は3回以内)
			3L/m ²	但し、収穫120日前まで			
みずな	立枯病	500		は種時		土壌灌注	
みぶな		1000					
みつば	根腐病	2000	100~300L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
	ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで						
いちご	苗の発根促進、活着促進	1000	-	挿し芽採取時	1回	30分間挿し芽浸漬	2回以内(挿し芽採取時の浸漬処理は1回以内、挿し芽時の土壌灌注は1回以内)
			1.5L/育苗培養土5L	挿し芽時		土壌灌注	
			100ml/株	移植時及び大土寄せ時		2回以内	
カーネーション	立枯病	500		定植時及び活着後	3回以内		3回以内
アイリス	白絹病	1000~2000	3L/m ²	定植時及び生育期	6回以内	土壌灌注	6回以内
きく	発根促進	1000	5~10L/m ²	挿し芽直後	1回	苗床全面灌注	1回
林木(苗木)	立枯病	500~1000	3L/m ²	は種覆土直後			
西洋芝(ベントグラス)	赤焼病		2L/m ²	発病初期	4回以内	散布	6回以内
	ピシウム病	250~500	0.5L/m ²				